

市職労退職者の会

平和を願う暑い夏です

だより

No 27
2015.8.31



1983年に福岡市役所の青年達によって福岡～長崎間として始まった反核平和マラソンは、第4回目から広島平和公園が出発地となっており、今年からは30回の節目となり、フランス、韓国から多数の代表団を迎えて盛大に取り組みました。(詳細別記) 報告者は神田孝さん

〈会費更新のお願い〉 来年1月で前回納付から5年が経過する会員のみなさまには、会費納付書を同封しています。「退職者の会」の運営は、会費と組合からの補助、行事毎の参加費で賄っています。
会費3,000円につきましては「退職者の会だより」の郵送料(年5回程度)と各行事毎の参加者への通信費に支出しています。会費のたためみなさまのご理解・ご協力をよろしく願います。

『水郷柳川歴史の路散策と川下り』

「水郷柳川」は国の名勝にも指定され、福岡を代表する観光地です。川辺に見える白壁の家並、柳の緑と川面を伝う風の音、運が良ければ舟入の結婚式にも巡り会うかも知れません。秋は。水郷柳川でゆっくり舟遊びして、郷土料理を堪能します。参加してください。お待ちしております。

- ① 日時 10月17日(土) 9時～18時(帰着)
- ② 集合場所 * 西鉄天神福岡駅に8時40分
午前9時発大牟田行き特急電車(二日市で乗車も可)
- ③ 日程 天神福岡駅発(9:00) ↓ 柳川駅着(9:50) ↓ 川下り乗船場(10時30分発) ↓ 御花で昼食(12:00) 他
- ④ 費用 5,150円(柳川特盛切符・往復乗車券+乗船券+食事代)
他に入館料が500円程です。
- ⑤ 案内 柳川市観光ボランティアにお願いしています。(無料)
- ⑥ 申込締切 10月13日(火)
- ⑦ 申込先は、市職労書記局 電話 092・711・4940

Fax 092・714・4013

*雨天の場合は、中止することもあります。(前日の午後に判断します)

第二回セカンドライフサロン」

意外に知らない「介護保険」のしくみ

退職者の会では7月22日（水）に天神芙蓉で第3回セカンドライフ・サロンを開きました。当日は雨が強く降る中でしたが、18名の皆さんに参加いただきました。

「介護保険」と「認知症」についての基礎知識を、前回好評でした福岡県高齢者福祉生協の吉野道利さんにお話いただきました。吉野さんから「皆さん元市職員ですから介護保険制度は詳しいですよ」と聞かれ、「少しだけ」と答えた人が二人、他は言葉だけは知ってるけど制度の本身は知らない方が殆どでした。

そこで、①介護保険制度で利用できるサービスの種類や利用条件、②保険が適用されても自己負担が発生することやその内容などを詳しく説明受けました。③施設サービスや在宅介護など複雑な仕組みで、④サービスを受ける事業者は自分で選ぶことが原則だから、⑤悪質な事業者もあるのでよく調べて決めることが大切なことなども丁寧に説明受けました。

☆子や孫に戦争する国を残さない！☆

安倍政治を、許さない！

第33回反核平和マラソン

福島〜長崎まで1800キロ

33回目を迎えた広島―長崎反核平和マラソン、1983年に福岡―長崎間として始まった取り組みは、第4回目から広島平和公園が出发点になり、今年は節目の30回目となりました。

フランス・韓国からも33名が参加

今回はフランス、韓国の海外代表団33名が来日。このうちパリ郊外のスタン市から高校生大学生を中心にした陸上クラブからメンバー25名が参加、これは3年前に広島・長崎を走ったカデロン夫妻が「広島〜長崎の感動を若者に体験させたい」と同市の公費研修団として派遣してきました。広島―長崎の全区間にメンバー12名を配置するなど今回の意気込みを感じました。3日間を通してスタンのESクラブのメンバーは若いだけあつ



てスピードもあり暑さをもとせ走り抜けていました。このほかフランスFSGT(勤

労者スポーツ連盟)の5名、韓国市民連帯の3名も暑さにめげずタスキをリレーしました。
スタンの高校生25名がタスキリレー

6日から8日



までの3日間、炎天下にもかかわらず大きな事故もなく、所期の目的を達成しました。今年是被爆70年、原発被害地の福島からスタートし、東京、広島そして長崎の1800キロを「核兵器なくせ」「戦争するな、平和を守れ」を沿道の人々にアピールしました。

戦争する国にするなの声を大きく

7日の夕刻、福岡市職労などの出迎えの中、福岡市役所に到着。船越伸登志委員長が歓迎のあいさつを述べました。今年はランナー、スタッフ合わせて159名が参加、88区間に延べ550名が走りました。福岡市職労からはランナー、スタッフに現職、OBを含め13名が参加しました。